

5月9日（木）、市民未来大学の受講者32名が、校外学習の一環として南房総の道の駅巡りに参加しました。このバスツアーでは、南房総の「道の駅・観光施設」巡りをおこない、南房総地域の魅力を満喫しました。

目的地までの車中で行われたクイズ大会では、南房総地域の歴史や文化、そして健康に関する様々な質問が出題されました。内山教授（地域連携推進センター長、観光学部長）の解説付きで、地域や健康に関する興味深い情報を学びながら楽しみました。

初めの目的地である、道の駅「とみうら枇杷倶楽部」では、南房総の地場産品や特産品を堪能しました。旬である枇杷や地元の新鮮な野菜や加工品など、豊富な品揃えに参加者は興味津々でした。

次の目的地として訪れたのは「渚の駅たてやま」です。こちらでは、海の幸や地元の特産品を楽しみました。栈橋形式で日本最長の「館山夕日栈橋」で潮風を感じながら海上散歩を楽しむ参加者もいました。

さらに、2024年2月にグランドオープンした道の駅「グリーンファーム館山」では、豊かな農産物をはじめとした館山市の食の魅力を体感しました。旬の野菜や果物、館山の老舗の和洋菓子店とのコラボスイーツをお土産に購入される参加者が多く見受けられました。

最後に訪れたのは、「はちみつとミードのはちみつ工房」です。こちらでは、はちみつやミードの製造工程を学び、その美味しさを堪能しました。特に、はちみつの優しい甘さと風味に加え、花の種類によって異なる香りや味わいに感動する参加者の姿が印象的でした。

今回のバスツアーでは、南房総の魅力を存分に堪能しながら、地域の特産品や歴史文化に触れることができました。今後もこうした地域交流イベントで、地域の活性化や市民未来大学の受講者同士の交流が促進されることを期待しています。

